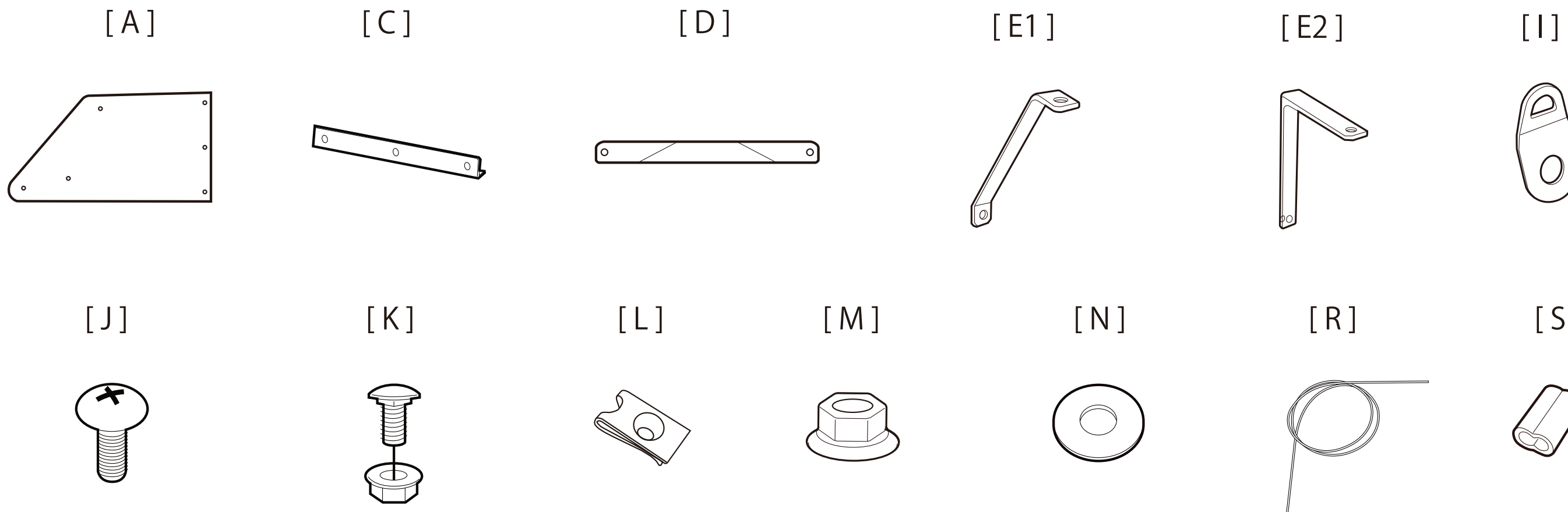


JIMNY [JB64] "little G. TRADITIONAL"

構成部品表

FRONT MADFLAP



No.	部品名称	個数	部品番号	No.	部品名称	個数	部品番号
A	フロントマッドフラップ	2	E-340	K	アクセサリボルト/ナット	6	A-119
C	ウエイト	4	E-420	L	スピードナット M6	4	B-069
D	フロントマッドフラップステー	4	C-355	M	フランジナット M6	4	B-049
E1	下部ブラケットA	2	C-354	N	平ワッシャー M6	2	B-038
E2	下部ブラケットB	2	C-353	R	ワイヤー	1	E-361
I	ワイヤーステー	6	C-549	S	ワイヤークリップ	4	E-362
J	トラスボルト M6x20	6	A-011				

JIMNY [JB64] "little G. TRADITIONAL"

取付説明書

DAMD
Styling Effect

FRONT MADFLAP

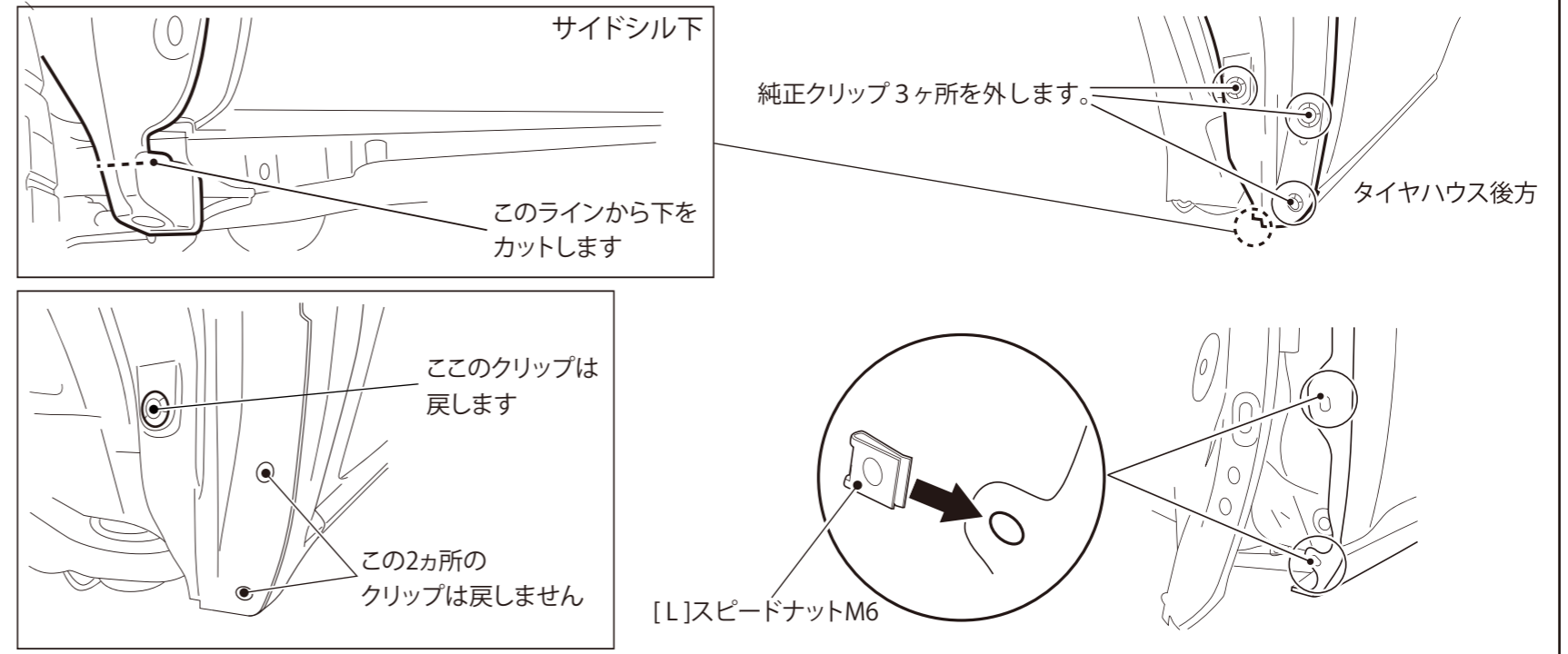
フロント・マッドフラップ

作業手順 ■ 取り付け前に必ず別紙注意事項をお読みください ■

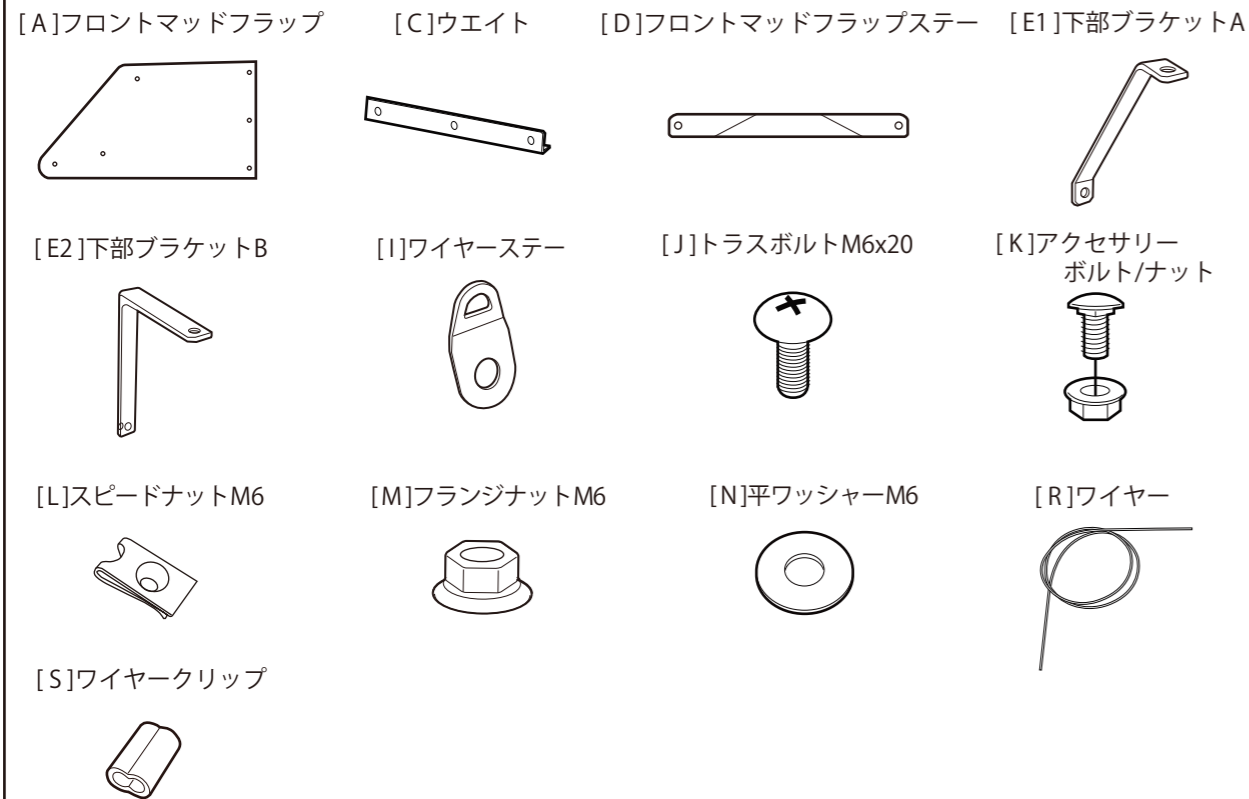
- ① 図①を参考に作業しやすいようにタイヤハウスインナーのクリップ(3箇所)を取り外し、クリップ穴(2箇所)に[L]スピードナットM6をはめ込み、ニッパー等でタイヤハウスインナー下部をカットします。
- ② 図②を参考に[C]ウェイト、[I]ワイヤーステーを[A]フロントマッドフラップに取り付け、[D]フロントマッドフラップステー、[E1]下部ブラケットA、[E2]下部ブラケットBを[A]フロントマッドフラップに仮組みします。

裏面に続く

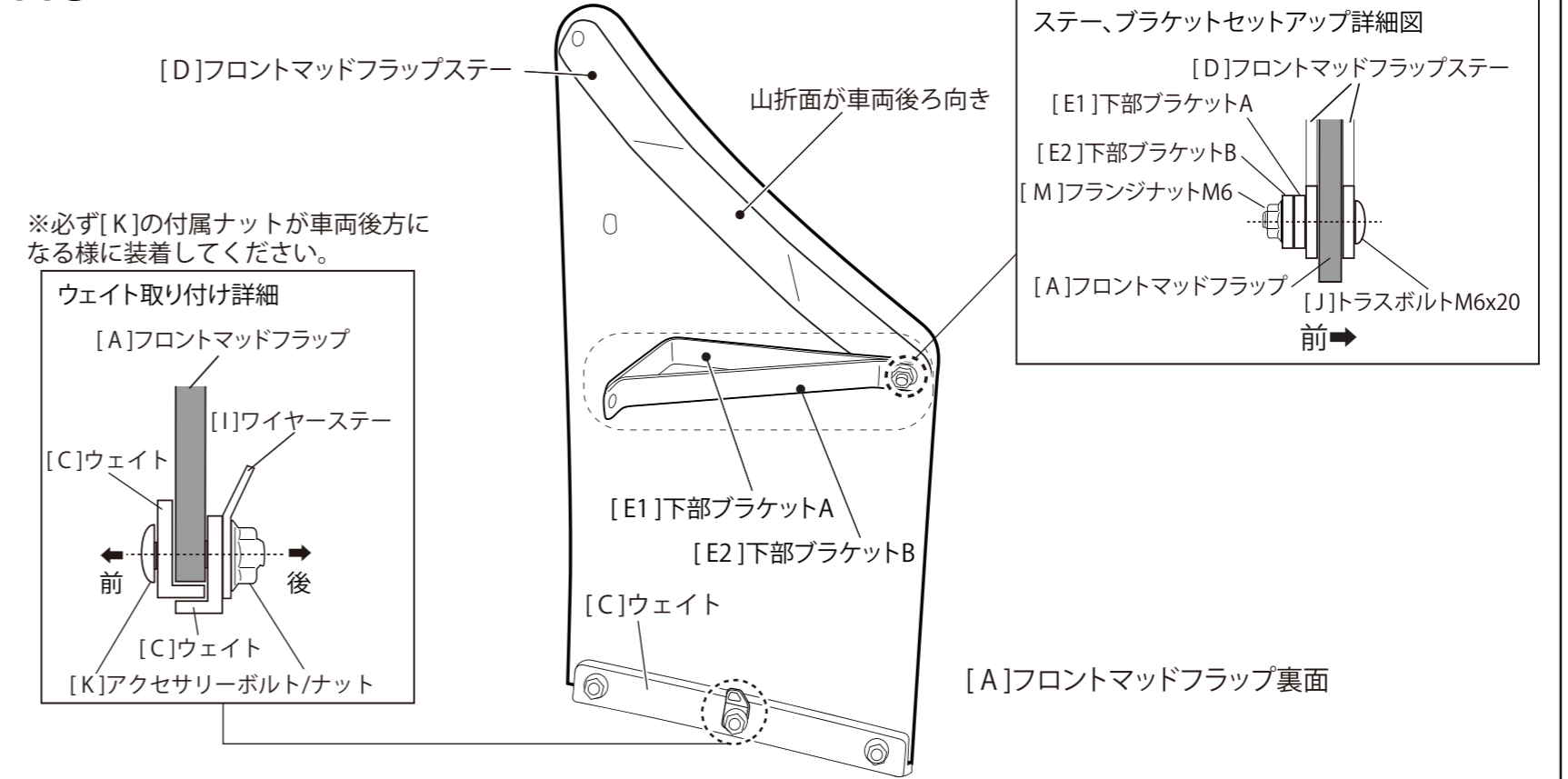
図① 取り付け事前準備 (図は助手席側。運転席も同様に作業します)



構成部品図 フロントマッドフラップ使用分



図② ステー、ブラケットの取り付け (図は助手席側。運転席も同様に作業します)



※構成部品表はリアマッドフラップの取り付け説明書参照

DAMD Inc.

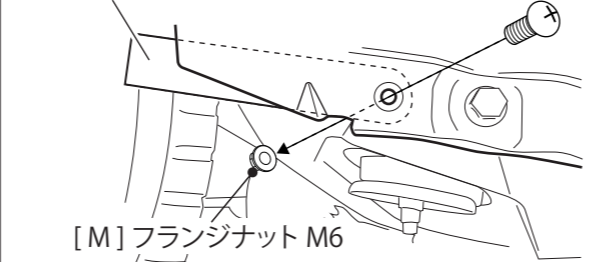
株式会社 ダムド
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1
TEL.046-271-5599 FAX.046-272-2266
http://www.damd.co.jp

③図③を参考に車両穴位置に合わせて[A]フロントマッドフラップを取り付けます。
 ※大径タイヤ装着時にハンドルを切ると*周辺がタイヤに干渉する場合があります。その際は、本製品を使用しないで下さい。

④図④を参考に[I]ワイヤステーを車体に固定し、ワイヤループ作成詳細を参考に[R]ワイヤーを取り付けて装着完了となります。

図③ フロントマッドフラップの取り付け (図は助手席側。運転席も同様に作業します)

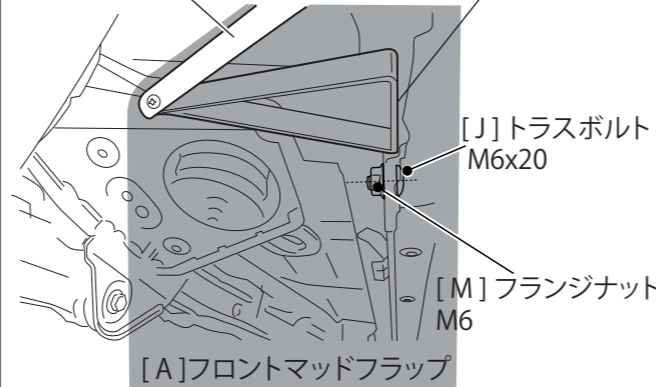
車体側面下方
 [E1]/[E2]下部ブラケットA/B [J]トラスボルトM6x20



[M]フランジナット M6

車体下リブ前方の穴に[J]トラスボルトM6x20、
 [M]フランジナットM6を使い、
 [E1]/[E2]下部ブラケットA/Bを固定します。

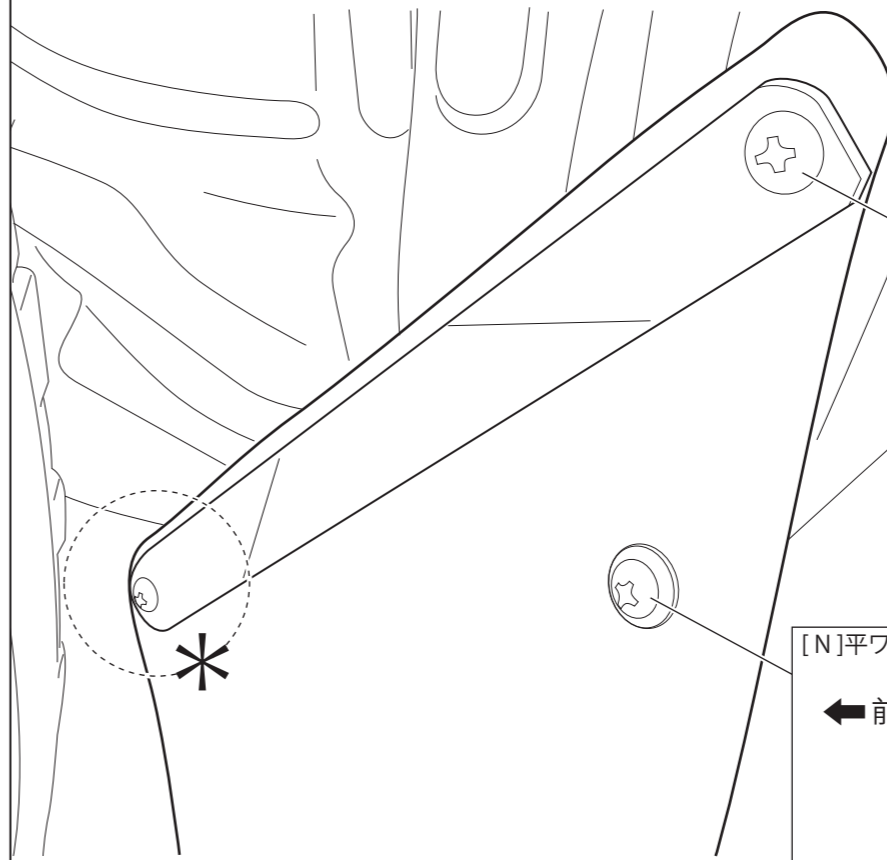
車体下面
 [D]フロントマッドフラップステー
 [E1]/[E2]下部ブラケットA/B



[J]トラスボルト M6x20

[M]フランジナット M6

[A]フロントマッドフラップ



[D]フロントマッドフラップステー

←前

→[L]スピードナットM6へ

[A]フロントマッドフラップ

[J]トラスボルトM6x20

[N]平ワッシャーM6

←前

→[L]スピードナットM6へ

[A]フロントマッドフラップ

[J]トラスボルトM6x20

図④ ワイヤーの取り付け (図は助手席側。運転席も同様に作業します)

[I]ワイヤステー取り付け穴

[R]ワイヤー

←ループを作る

[S]ワイヤークリップ

ワイヤーを通してからかします

注意：ループを作成するには[S]ワイヤークリップを圧着ペンチなどでしっかりかきつけて下さい。
 かきつけが不十分ですとワイヤーが抜けて、車両の破損や事故の原因となります。

[A]フロントマッドフラップ

純正ボルト

※ワイヤーのループ上端から
 ループ下端の参考長さは200mm

200mm

余分な長さをカット

[I]ワイヤステー

[I]ワイヤステー

